

1学年だより

No. 5 2019. 5. 30 (木)

白石市立白石中学校

第1学年 学年主任 小形 潤矢

4日(火) 白刈陸上・水泳大会・新体操中総体激励会(6h)

5日(水) 指導主事訪問

8日(土) 地区陸上大会

○集合場所: 緑地公園に現地集合(自転車通学者のみ自転車通学可)

○集合時間: 7:00 選手, 陸上部員, 補助生徒, 応援団員

8:00 一般応援生徒

○持ち物: 弁当, 飲み物, 帽子, タオル, 敷物, 雨具

○その他: 中止の場合, 学校メール・学級連絡網で連絡します。火曜日の授業+弁当持参

9日(日) 白石市総合防災訓練(8:00~10:30)

10日(月) 【振替休業日】

19日(水) 1学期中間考査

20日(木) 生徒会専門委員会

21日(金) 三地区水泳大会

25日(火)~26日(水) 野外活動(蔵王合宿)

6月の
行事予定

野外活動に向けて

6月25日(火)・26日(水)の2日間, 野外活動を行います。この活動で何を学び, どのような活動を行うのか, ご家庭でも再確認をお願いいたします。

ねらい

- (1) 宿泊学習という集団活動を通して, 規則正しい生活や自律性・協調性を育てる。
- (2) 級友との関わりの中で, 他人のよさを認め, 互いに認め合い切磋琢磨していこうとする姿勢を育てる。
- (3) 学校生活を通してこれまでに身に付けたことを確認し, 今後の学校生活での課題を共有する。

活動内容

1日目 6月25日(火)	2日目 6月26日(水)
8:15 登校	6:00 起床
8:30 出発式	7:00 朝のつどい
8:45 バス乗車	7:30 朝食(食堂)
9:20 自然の家到着	8:15 荷物整理
9:30 出合いのつどい	9:00 輪切り板の壁掛けづくり
10:00 スコアオリエンテーリング 昼食(持参弁当)	11:00 壁掛けづくり終了
13:30 荷物整理	11:30 別れのつどい
14:00 野外炊飯活動(カレーライス)	11:45 荷物積込(バス)
18:30 移動・ベッドメイキング	12:00 ハイキング(狐が森~ハートランド)
19:00 試胆会	13:30 ハートランド到着・昼食(弁当)
20:30 入浴	14:30 バス乗車・ハートランド出発
21:30 室長会議	15:30 学校到着
22:00 消灯・就寝	15:45 帰校式
	16:00 解散

服装・持ち物

- (1) 服装 学校指定ジャージ
- (2) 持ち物 【宿泊用バッグに入れるもの】
着替え、寝るときに着替えるジャージ、タオル、洗面用具、ビニール袋、シャンプー、石鹸
- 【活動用バッグ(両肩で背負えるバッグ)に入れるもの】
しおり、筆記用具、1日目弁当、水筒、タオル、ハンカチ、ティッシュ、上靴、帽子、敷物、軍手
カップ(上下セパレート)、虫除けスプレー

日常生活から離れて、違う世界を体験します。学年全体が限られた時間で行動するわけですから、「我慢」を強いられることがたくさんあります。また、そのための「不便さ」というのも合宿の楽しみのひとつでもあります。友達と協力し合って、「不便さ」を乗り越えれば、楽しさも倍増、思い出深い合宿となることでしょう。

3つのステップで成果が出る正しい勉強の仕方と手順

「テレビばかり見ていないで、勉強しなさい」・・・テストが近づくにつれて、よく聞くフレーズです。子どもも「勉強しなければ」とは思うものの、「どう勉強したらよいか分からない」というケースは意外と多いようです。定期テストの勉強方法は、次の3つのステップを踏むだけです。『わかる』と『できる』は違います。自力で『できる』ようになるまで、何度も解かなければなりません。**学年+1時間**で頑張ってください。

ステップ1 : 出題範囲・傾向の「できるもの」を知る

出題のポイントや書かれたテスト範囲表は宝の地図です。特に「失くし物や忘れ物」の多いお子さんは要注意。自己管理が下手だと成績は上がりません。また、ワークブックやプリント類が配られ、テスト後の提出課題となります。提出物の問題がそのままテストに出ることもありますから、これらの問題はまさに「宝の山」、定期テストの対策にも大いに役立ちます。この提出物の問題を完璧に解けるようにすることが、最善のテスト勉強です。

ステップ2 : 自分の実力で「できないもの」を知る

テスト勉強は「できない問題をできるようにすること」です。だから、分からない問題や間違えた問題を知る必要があるのです。まずは、教科書の問題や宿題の中で、次の3つの問題には×印をつける習慣をつけましょう。

- ①分からなかった問題 ②間違えた問題 ③いい加減に書いたら、たまたま正解した問題
これらの「できないもの」を一目で見てすぐに分かるようにします。

ステップ3 : 「できない」を「できる」に変える

「できないもの」が分かったら、あとはそれを「できるもの」に変えていきます。それこそが「テスト勉強」です。具体的にはステップ2でつまづいた箇所を徹底的に反復するのです。これを実践できるかが点数アップの要と言えます。成績が伸び悩む子どもは、不正解にも関わらず「1回解いたから、もういい」と考える傾向が強くあります。大切なのは、解説やヒントを見ずに自分の力だけで正解できるまで繰り返すこと。

2回目からはステップ2でつけた×印のついている問題を中心に解き直すのです。2回目で自力正解なら攻略済ということで○印をつけます。ダメならまた×印をつけます。こうすると、できなかった問題ほど×印の数が多くなるので、苦手なものが一目瞭然です。何度も苦しめられた問題に○印がつくのは気持ちのよいもので、こうした達成感が自信や意欲につながるのです。ゲームのボス敵と戦うような感覚で取り組めると理想です。

大事なことはステップ3までやり切ることです。ステップ3にどれだけ時間をかけられるかが、テストで点を取れるか、取れないかの分かれ道です。テスト勉強のスタートは早いに越したことはありません。

編集後記 1日24時間、誰もが平等に与えられている時間。「時間」の上手な使い方を覚えることが自立への第一歩です。24時間のうち、6～8時間の睡眠時間は健康維持のために絶対に必要です。あとの16～18時間をどのように使っているのか、もう一度点検してみましょう。